

25国多連発第 2号  
平成25年4月15日

東京都知事  
猪瀬 直樹 殿

西武鉄道国分寺線・多摩湖線の存続と  
沿線の更なる充実・発展を求める要望書

3月26日、(株)西武ホールディングスの後藤高志社長は、記者会見で、筆頭株主である米投資会社サーベラスの株式公開買付けに関連し、昨年10月にサーベラスから西武鉄道の不採算路線とされる国分寺線・多摩湖線・山口線・多摩川線・秩父線の5路線の廃止などが提案されたことを明らかにしました。

国分寺線は小平市、東村山市、国分寺市を通り、多摩湖線はこれら3市と東大和市を通っています。この2路線の沿線住民は、日々通勤・通学などに利用し、生活に欠かすことのできない生命線とも言うべき路線となっております。

我々沿線4市は、長年西武鉄道とともに発展してきたものであり、今後も市民福祉の向上と都市の発展を図るうえで、国分寺線・多摩湖線の存続と更なる充実・発展は欠かすことのできないものであり、今回の路線の廃止の提案は断じて許すことはできません。

そこで、沿線4市は、国分寺線・多摩湖線の廃止を断固阻止し、沿線地域の更なる振興を推進するため「西武鉄道国分寺線・多摩湖線沿線連絡協議会」を設立したところであります。

つきましては、「西武鉄道国分寺線・多摩湖線沿線連絡協議会」の活動にご理解を頂きまして、沿線住民の生命線でもある国分寺線・多摩湖線の存続、沿線地域の更なる充実・発展のため、国ならびに西武鉄道等の関係機関へ働きかけるなど、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年4月15日

西武鉄道国分寺線・多摩湖線沿線連絡協議会

代表	東村山市長	渡 部	尚
	小平市長	小 林	正 則
	国分寺市長	星 野	信 夫
	東大和市長	尾 崎	保 夫